



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

コード番号 2222 URL <http://www.okashinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,822	10.3	887	8.0	898	8.2	492	△1.0
25年3月期第2四半期	9,808	8.3	821	73.0	830	81.4	497	125.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 489百万円 (△0.0%) 25年3月期第2四半期 489百万円 (105.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	47.49	—
25年3月期第2四半期	47.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,804	7,268	52.6	700.65
25年3月期	13,754	7,089	51.5	683.47

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,268百万円 25年3月期 7,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,750	5.3	2,100	12.2	2,100	11.1	1,170	12.2	112.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,373,840 株	25年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	364 株	25年3月期	364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	10,373,476 株	25年3月期2Q	10,373,483 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新政権の景気回復に向けた経済政策への期待感を背景に高額商品の消費が上向くなど消費マインドに改善の兆しが見られた反面、雇用情勢や所得環境の改善の遅れに加え、消費税増税など先行きに対する懸念から節約志向がまだ強く、楽観視できない状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の具現化を目指し、『ニューコンセプトメーカー』のスローガンのもと、「全く新たな領域創造」をテーマに新ビジネス・新ブランド・新商品創りなどの事業施策を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,822百万円（前年同期比10.3%増）となりました。利益面では、販売費及び一般管理費が人件費、販売促進費の増加などにより4,750百万円（前年同期比13.9%増）となった一方、増収効果に加え売上総利益率が前年同期の50.9%から52.1%と1.2ポイント増加したことにより、営業利益は887百万円（前年同期比8.0%増）、経常利益は898百万円（前年同期比8.2%増）、四半期純利益は492百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

なお、海外展開につきましては、平成24年11月に設立した非連結子会社の台湾北壽心股份有限公司が本年7月に台湾台北市に海外初出店となるカフェ店舗「KONAYUKI」を立上げました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

従来、「その他」に含めておりました「ジャパルシー」については、量的な重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、前年同四半期の算定方法につきましても当四半期の区分に組み替え後の数値に基づいて算定しております。

#### ① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、プロモーションと連動した主力商品の販売強化、ルタオ15周年記念スイーツなど新商品の投入、夏ギフト対策の強化、DM企画の充実、楽天市場などネット通販対策の強化などに注力いたしました。また、新規出店では、新業態として本年7月、東京・表参道にアントルメグラッセの専門店「グラッセル」を出店いたしました。

その結果、売上高は、グループ向け売上、道内店舗及び通信販売が伸長したことなどにより3,610百万円（前年同期比11.0%増）となり、営業利益は307百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

#### ② 寿製菓

寿製菓は、出雲大社の「平成の大遷宮」行事により観光客が増加傾向にある山陰地区において主力商品の販売強化や20周年を迎えた「お菓子の壽城」のイベント開催など地元対策の強化に注力いたしました。その結果、売上高は4,006百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は413百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

#### ③ 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・高速道路などの交通機関チャンネルを中心に、販売強化に努めました。地区別では、九州地区が低迷した一方、東海地区は、発売3年目を迎えた「小倉トーストラングドシャ」の拡販と伊勢神宮の遷宮行事で観光客増加を背景に堅調に推移しました。また、関西地区では駅・空港など直営店が低迷した一方、催事展開の強化により前年同水準となりました。その結果、売上高は2,249百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は123百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

#### ④ 九十九島グループ

九十九島グループは、テーマパーク向け売上が低迷した一方、主力商品の販売強化、福岡・大名に本年6月にオープンしたフレンチトーストの専門店「アイボリッシュ」の展開強化に努めました。その結果、売上高は1,453百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は50百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

#### ⑤ 但馬寿

但馬寿は、主力商品の「遊月亭の黒豆茶」の通信販売の伸び悩んだ一方、「伊勢奉祝えび煎餅」などグループ向け売上が堅調に推移した結果、売上高は576百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は44百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

#### ⑥ シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、既存店舗の売上増大に向け、販促強化や新商品投入などに注力いたしました。その結果、売上高は、前期に出店した「ザ・メープルマニア」東京駅グランスタダイニング店や「東京ミルクチーズ工場」東京スカイツリー店、アトレ吉祥寺店などの出店効果と既存店舗の好調などにより1,095百万円（前年同期比48.0%増）となり、営業利益は22百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

⑦ ジャパルシー

美と健康をテーマに事業を展開するジャパルシーは、昨年10月より試験的に事業を開始し、本年5月に事業を本格稼働いたしました。「栃の実」・「藍」などの天然由来素材の有効性を活かした健康食品を主力にシャンプー、ボディシャンプーなどのパーソナルケア製品や化粧品ブランド「アイサクラ」を商品群に加え、事業モデルの確立と会員顧客獲得に向けて説明会の開催やキャンペーンの実施などに注力いたしました。その結果、売上高は86百万円となり、営業損失は78百万円（前年同期は営業損失74百万円）となりました。

⑧ その他

その他は、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。売上高は21百万円（前年同期は2百万円）となり、利益面では通販基幹業務システムサービスの人件費の増加などにより営業損失は25百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,804百万円となり、前連結会計年度末と比べ50百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（227百万円）、有形固定資産の増加（144百万円）及び投資その他の資産の増加（89百万円）などの要因によるものです。

負債は、6,536百万円となり、前連結会計年度末と比べ128百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債におけるその他の減少（214百万円）、1年内返済予定の長期借入金の減少（182百万円）、長期借入金の増加（148百万円）などの要因によるものです。

純資産は、7,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加（492百万円）、配当金の支払いによる減少（311百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し、52.6%となり、1株当たり純資産は700円65銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、1,880百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、545百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益892百万円、減価償却費の計上288百万円、賞与引当金の増加41百万円の計上があった一方、法人税等の支払436百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、506百万円（前年同期比90.0%増）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出405百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、264百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

主な要因は、長期借入れによる収入450百万円及び短期借入金の純増額100百万円の増加要因があった一方、長期借入の返済による支出483百万円及び配当金の支払311百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、当第2四半期業績は概ね計画どおりで進捗いたしており、本資料発表日現在におきましては、前回公表数字（平成25年5月13日付「平成25年3月期決算短信」）からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,647,934	2,420,734
受取手形及び売掛金	2,145,427	2,113,183
商品及び製品	592,651	616,466
仕掛品	26,452	29,347
原材料及び貯蔵品	329,949	333,096
その他	387,657	435,330
貸倒引当金	△10,029	△7,973
流動資産合計	6,120,041	5,940,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,991,335	3,149,773
機械装置及び運搬具（純額）	561,731	584,781
工具、器具及び備品（純額）	222,689	238,224
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産（純額）	30,717	20,533
建設仮勘定	62,498	19,971
有形固定資産合計	6,369,637	6,513,949
無形固定資産		
投資その他の資産		
その他	1,223,062	1,319,321
貸倒引当金	△89,076	△95,517
投資その他の資産合計	1,133,986	1,223,804
固定資産合計	7,634,853	7,864,774
資産合計	13,754,894	13,804,957
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	758,528	767,398
短期借入金	2,000,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	618,804	436,585
未払法人税等	439,214	403,358
賞与引当金	361,847	402,864
その他	891,718	677,402
流動負債合計	5,070,111	4,787,607
固定負債		
長期借入金	550,813	699,142
退職給付引当金	784,326	804,007
その他	259,686	246,028
固定負債合計	1,594,825	1,749,177
負債合計	6,664,936	6,536,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	4,522,054	4,703,496
自己株式	△326	△326
株主資本合計	7,062,689	7,244,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,269	24,042
その他の包括利益累計額合計	27,269	24,042
純資産合計	7,089,958	7,268,173
負債純資産合計	13,754,894	13,804,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	9,808,823	10,822,747
売上原価	4,816,352	5,185,572
売上総利益	4,992,471	5,637,175
販売費及び一般管理費	4,170,808	4,750,061
営業利益	821,663	887,114
営業外収益		
受取利息	226	218
受取配当金	1,837	1,852
受取地代家賃	9,165	8,057
その他	19,855	22,101
営業外収益合計	31,083	32,228
営業外費用		
支払利息	19,399	15,764
その他	3,321	5,383
営業外費用合計	22,720	21,147
経常利益	830,026	898,195
特別損失		
固定資産売却損	39	76
固定資産除却損	286	5,253
特別損失合計	325	5,329
税金等調整前四半期純利益	829,701	892,866
法人税等	332,114	400,220
少数株主損益調整前四半期純利益	497,587	492,646
四半期純利益	497,587	492,646

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	497,587	492,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,945	△3,227
その他の包括利益合計	△7,945	△3,227
四半期包括利益	489,642	489,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,642	489,419

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	829,701	892,866
減価償却費	275,886	288,980
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36,813	4,385
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,515	41,017
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,477	19,681
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△98,042	—
受取利息及び受取配当金	△2,063	△2,070
支払利息	19,399	15,764
固定資産売却損益 (△は益)	39	76
固定資産除却損	286	5,253
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,254	32,244
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,782	△29,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,124	8,870
その他	27,198	△283,121
小計	931,641	994,088
利息及び配当金の受取額	1,983	2,139
利息の支払額	△19,417	△14,744
法人税等の支払額	△456,014	△436,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,193	545,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△300
定期預金の払戻による収入	1,200	1,300
投資有価証券の取得による支出	△1,468	△603
有形固定資産の取得による支出	△250,864	△405,064
有形固定資産の売却による収入	19	57
無形固定資産の取得による支出	△15,195	△14,125
貸付金の回収による収入	250	—
関係会社株式の取得による支出	—	△63,336
出資金の回収による収入	—	475
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,287
敷金及び保証金の回収による収入	—	10,932
その他	△5	△33,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,663	△506,621
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	—	450,000
長期借入金の返済による支出	△269,774	△483,890
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,046	△12,046
自己株式の取得による支出	△14	—
配当金の支払額	△207,470	△311,204
その他	△7,500	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296,804	△264,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105,274	△226,200
現金及び現金同等物の期首残高	1,981,870	2,106,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,876,596	1,880,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	3,060,247	2,407,982	2,130,749	1,310,749	156,277	740,170	—
セグメント間の内部 売上高又は振替高	193,589	1,298,664	—	138,479	371,852	—	—
計	3,253,836	3,706,646	2,130,749	1,449,228	528,129	740,170	—
セグメント利益 (△は損失)	298,546	349,494	108,390	59,428	40,297	24,191	△74,259

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	9,806,174	2,649	9,808,823	—	9,808,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,002,584	—	2,002,584	△2,002,584	—
計	11,808,758	2,649	11,811,407	△2,002,584	9,808,823
セグメント利益 (△は損失)	806,087	△643	805,444	16,219	821,663

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額16,219千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額270,350千円、セグメント間取引消去額7,485千円、たな卸資産の調整額△5,116千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△256,500千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シユクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	3,208,193	2,702,678	2,249,380	1,313,081	147,364	1,095,404	86,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,648	1,303,736	—	140,391	429,010	—	—
計	3,610,841	4,006,414	2,249,380	1,453,472	576,374	1,095,404	86,474
セグメント利益 (△は損失)	307,415	413,646	123,049	50,620	44,972	22,954	△78,969

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	10,802,574	20,173	10,822,747	—	10,822,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,275,785	1,218	2,277,003	△2,277,003	—
計	13,078,359	21,391	13,099,750	△2,277,003	10,822,747
セグメント利益 (△は損失)	883,687	△25,385	858,302	28,812	887,114

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額28,812千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額300,687千円、セグメント間取引消去額6,566千円、たな卸資産の調整額△4,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△273,503千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「その他」に含めておりました「ジャパルシー」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。